

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成22年 5月13日(木) 午後7時30分～午後9時15分		
会場	みずき公民館	出席者数	19人 (男15・女4)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
市長講話 資料を基に30分程度講話			
質疑応答			
1 (説明資料の中で) 新規高卒就労者定着事業とは?			
答	新卒者が、企業に就職しても定着していない現状があるため、長く勤めてもらえるように、関係者の意見を聞きながら、例えば研修・訓練などについて支援していく事業。		
2 (説明資料の中で) ふるさと雇用再生事業・緊急雇用創出事業とは?			
答	リストラ等にあった方に対し、次の職に就くまでの間の雇用対策事業です。就労期間の長短や対象事業で制度が違っています。 市においても(企業での雇用も含めて)、例えば花咲かフェア等で120名程度の採用に努めている。		
3 市の当初予算が対前年比5%アップしており意気込みが感じられたが、今日の説明からすると、アップ分は子ども手当であり、ほぼ昨年並みの予算内容なのか?			
答	昨年度140億円から今年度147億円で、増額分はほとんど子ども手当などの国から来る財源です。今年1年で8億7千万円(実質10ヶ月分)ですが、医療費の無料化などの子育て支援対策を強化していきたいが、こうした国の子育て支援制度の今後の推移を見極めながら慎重に検討を進めたい。		
4 最上川寒河江緑地整備事業は何処の事業か、財源は?			
答	市の事業です。今年度の予算は1億円で国の補助事業で実施している。今年運動広場が出来る。カヌー競技ができる長さ600m、深さ1.5mの水面広場もほぼ完成し、水を溜めるだけとなっている。 色んな意見があり、事業を取りやめた場合の補助金返還、借金返済、現状復元等、そしてカヌー協会からの要望等も踏まえると、市民の皆さんと共に一日も早い利用ができるようにしていきたい。今後はカヌー人口		

を増やす取り組み、カヌー大会の誘致、地域や市民の利活用等を図り、多くの方々に利用していただくための取り組みに努めていきたい。

また、寒河江はカヌー人口が少ないので、中学校等に働きかけていきたい。

山形県で、国体で得点が取れるのはカヌー競技だけとも言われており、これまで育ってきたカヌー競技の芽をつみたくない。

5 市で管理しているみずき公園の垣根にトゲがあり、危険なので切ってほしい。(要望をしているとのこと。)

答 今年は公園の剪定に入る。事前に地元の意向を聞いているが、要望しているとすれば、そのようにしていく。

6 (説明資料の中で)人口減少の推移、見込みであるが、中には増えている自治体もあるのでは? その分析については?

答 東根市、天童市でも最近あまり増えていないようだが、増加する要因は総合的なもので、区画整理事業による安価で優良な住宅団地の提供や工業団地への優良企業の誘致による若い人たちの働く場の確保、充実した子育て支援制度などにあると思う。全国的な減少傾向の段階にあることは間違いのないことだが、いろんな手立てを施しながら住みやすい環境づくりに目標を立て、少しでも人口が減らないようにしたい。

7 みずき団地がすぐに完売し、ほなみ団地・白岩さくら団地等が苦戦しているがその分析は? 例えば、他市に比べ水道料金が安いなどの目玉を提供すれば販促に繋がるのではないか。

答 山形嶋地区、河北の団地も苦戦しているように、一つは景気が影響しているのではないか。

そのほか、地の利や設定地価、周辺環境等も影響しているのではないか。住み易いまちづくりへインパクトのある施策を提供することは大事なことだと思う。例として、住宅建築推進事業ですが、前の耐震事業は売れ行きが悪かったが、この事業はすごい人気で、予定した900万円の予算は4月でなくなってしまった。こういった、的を得た事業を展開していきたい。それには、市民の皆さんが何を望んでいるのか調査・検証して、皆さんの要望をとらえた施策が必要と考えている。

8 ディズニーランドとハウステンボスを比べ、その違いを分析すれば市政に反映できるのでは(どうしたら寒河江市がディズニーランドになれるのか)。また、東根市の情報だけがTVに出るが、寒河江市はPRが下手なのでは?

答 情報発信や観光の分野については、知恵をしばって、必要であれば時にはお金も使いながらぜひ取り組んでいきたい。今年は、イメージアップ

推進室を設けて、現在考えながら走っているところなので、皆様のご指摘をいただきながら、充実した情報発信に努めていきたい。

また、厳しい財政事情の下で、先進地視察の旅費も削ってきたが、今後は市民の皆様のご理解も頂きながら、時には現地研修などの最先端の事例やノウハウに触れることの必要性についても検討していきたい。

9 (説明資料の中で) 財政調整基金の推移で途中から上がってくるのはなぜか?

答 平成21年度は、ほぼ確定しているが、22・23年度は予定であり、増やしていきたいという願望の入った数値です。

10 景気はあまり良くならないだろうし、市の財政も増えることはあまりないのではないか。今後の財政健全化についてどう考えているか?

また、他市に比べ印刷物が多いし、市報も立派過ぎる。ページ数についても、印刷枚数についても減らしてはどうか。

答 財政が悪くなった理由は、投資的事業、公共事業をやってきたためで、国の施策でもあったが、借金も増え返済に予算が食われることになった結果です。今は、新たな公共事業をやらない、新たな借金はしない方向でソフト事業を進めている。

人件費も大きな要因、人を減らしているが、場合によっては給与も下げていく必要がある。寒河江市では、現在、管理職手当でもカットしている。ただ、市報について2～3枚でどうかとなると疑問がある。乳幼児健診やお知らせ欄など各種情報を、市報を通して得ている場合が多いのでなかなか難しい。町会長からも印刷物が多く、少なくするよう要望がある。無駄は省いていかなければならない。

11 参考まで

ある寄り合いの雑談の中で、年寄り税・幸せ税的なものを出したいという話を何回か耳にしている。

答 大変、ありがたいご意見です。

12 中学校給食はいつから?

答 平成23年4月からの実施で進めている。

13 仲人制、仲人クラブを作っては? (人口減少に歯止めをかけるために)

答 以前、市にも結婚相談窓口があったそうだが、現在はNPOや民間で出会いの場を創っている。昨年暮れに商工会で「SAGAEスウィートスウィーツ」を実施して大盛況だったようです。市でもこうした動きを支援していきたいと考えている。いろんな方々から機会を創っていただくことが大事だと思います。

